

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-09 児童福祉運営事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				60	児童福祉運営事業	
主管課	保育課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行なう 待機児童0人						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年3月1日現在 公立+私立入所児童数			
	人口	176,669人	176,484人				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	10,200千円	12,459千円				
	(国・県)				指標と評価		
	(負担金等)				指標	鎌倉市保育会及び鎌倉市保育士会補助金の縮減	
	(一般財源)	10,200千円	12,459千円		評価	◎	
	人員配置数	0.1人	0.1人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	897千円	907千円			目標値	実績値
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	11,097千円	13,366千円		20年度	70,000円	70,000円
	市民1人当りの経費	63円	76円		21年度	68,000円	68,000円
	対象者1人当りの経費	6,234円	7,835円		22年度	66,000円	
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名				23年度		
					最終年度 (年度)		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 保育団体への補助については、研修会を開催するなど職員の資質の向上が図られるとともに保育の向上にも努めており、その必要性は認めるものの補助等のあり方の検討が必要である。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 補助金については、段階的に減額を行っており、21年度の目標は達成した。今後も目標通りに縮減していく。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 保育会・保育士会への補助金の適正な額について、決定していく必要がある。					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 保育会・保育士会が行っている事業について検証しながら、その効果を見極めていきたい。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	鎌倉市保育会、鎌倉市保育士会への補助金の縮減を段階的に図ってきた。適正な補助のあり方について、更に検討していく。		評価結果	改善の必要性	鎌倉市保育会、鎌倉市保育士会への補助金について縮減を図ってきているが、更なる縮減に向けて検討していく。	
C	有			C	有		
課長名	保育課長 進藤 勝			部名・部長名	こどもみらい部 佐藤 尚之		